



技術を究め、技術を創る

国立大学法人豊橋技術科学大学

住所：〒441-8580 愛知県豊橋市天伯町雲雀ヶ丘1-1

電話番号：0532-44-6539

担当者：学長戦略企画課

主要業務：国立大学（教育・研究・地域貢献/社会貢献）

ホームページ：https://www.tut.ac.jp/

目指すゴール



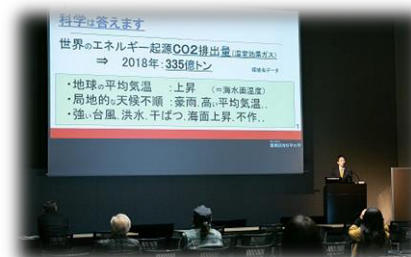
世界トップクラスの工科大学を目指して

—社会に貢献し元気な大学を創る—

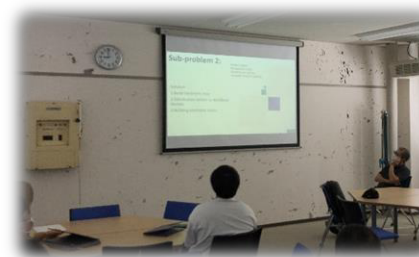
豊橋技術科学大学は、技術を支える科学の探究によって新たな技術を開発する学問、技術科学の教育・研究を使命とします。

この使命のもと、主に高等専門学校卒業生及び高等学校卒業生等を入学者として受入れ、大学院に重点を置き、実践的、創造的かつ指導的技術者・研究者を育成するとともに、次代を切り拓く技術科学の研究を行います。

さらに社会的多様性を尊重し、地域社会との連携を強化します。



「日経SDGsフェスinどまんなか」での本学教員の講演



留学生と日本人学生の国際共修授業

対策方法	なし	マスク	フェイスシールド	マスクシールド		
	不織布	布マスク	ウレタン			
吐き出し飛沫量	100%	20%	18-34%	50%	80%	90%
吸い込み飛沫量	100%	30%	55-65%	60-70%		

コロナ禍におけるマスク性能等の検証



カーボンニュートラルに向けた新技術の開発

SDGsの取組み紹介

■豊橋技術科学大学では、教育研究活動を通じて、全てのゴールに対し幅広く貢献しています。

■ビッグデータによる農作物管理の取組。園芸施設内で、センサー技術やロボットにより、農作物の生育状況などに係るデータを収集し、収集した情報をAIで解析し、栽培環境や収量などを予測する実証実験を実施。【ゴール2、9】

■スーパーコンピュータ「富岳」による新型コロナウイルス対策プロジェクトへの参画。飛沫シミュレーションによる感染リスク評価、マスク素材評価、マスク装着効果などの検証。【ゴール3】

■世界初！カーボンニュートラルに向けた新技術！雲の様子を見ながら太陽光発電量を高精度予測するシステムを開発。小中学校、民間企業の協力を受け、実証実験中。【ゴール7、9、11、13】

■大地震が発生した際に、豊橋市役所などの自治体庁舎の建物被害や庁舎の安全性を数時間で判定するシステムを開発。【ゴール11】

■アジア・アフリカ地域の教員を留学生として本学に受け入れ、日本人学生との国際共修授業を実施し、SDGsに関係する開発課題などについて学ぶ。【ゴール4】

■SDGsの取組状況の発信：【ゴール4、11、12、15】

- ・豊橋技術科学大学・豊橋市教育委員会連携講座「近未来の住まい・暮らし・街づくり」
- ・エレクトロニクス先端融合研究所シンポジウム「先端融合研究が拓くSDGs社会」
- ・三河材の普及を目的とした木育プロジェクト（令和2年度～3年度）（わかば補助金）
- ・「日経SDGsフェスinどまんなか」協賛